

## 八ヶ岳：東天狗岳

- ◆日程 2023年7月29日(土)～30日(日)  
◆メンバー L：TY、OK、KT

### 7月29日(土) 天候：晴れのち雨

縦走一年生企画ということで、久しく縦走していなかったことや、八ヶ岳に行ったことがなく、一度行ってみたいと思っていたので、参加することにした。

茅野駅を降りて、バスに乗ると大混雑で30分くらい立ったのちに北八ヶ岳ロープウェイ駅へたどり着いた。ロープウェイの山頂の坪庭につくと、人が一気に減る。準備をして出発。関東地方の猛暑と比較して、涼しくてちょうどよい気温だった。歩道も整備されているので、比較的歩きやすい。あっという間に麦草峠に到着した。明日に疲れを残さないように、また、15:00過ぎから夕立が降るということもあり、当初30分くらい遠回りして行く予定だった丸山を飛ばし、青苔荘まで直接向かった。青苔荘に到着して別山行で来ていたOBさんと会い、テントを張り、各々準備していたおつまみとお酒を片手にプチ宴会スタート。テント場にも徐々に人が集まり、テントを予約していなかったら張れなかったかもしれないくらい人が多かった。宴会開始から1時間後に夕立があり、テントの中に避難する。すると、テント内の床が水でふわふわと浮いてきた！まさしく天然のウォーターベットの完成だ。1時間後、雨が止んだらしくテントの外が騒がしい…。どうも、私たちのテントを含めた数か所は同じウォーターベットになっており、移動させていた(青苔荘では追加料金を500円/1人払うと、木の上にテントを張ることができ、ほかのテントはそこに移動させていた)私たちは移動させずに、ひたすらテントの下にたまった水を掬い出す作業を行った。通路の横に張っていたこともあり、すれ違う方に声をかけていただきながら作業した。特に、隣に女性1人でテントを張っていた方から、「手伝いますよ」とか「(水を掬うように)容器使いますか」等、温かい言葉をかけていただいたので、同じような場面に遭遇した人にこういう風に言える人になりたいと思った。テントが新しいものだったのと、フライをきちんと張っていたおかげで、テントは浸水せずに済んだ。40分ほどで無事にウォーターベットが解消されたので、就寝とした。

今回の教訓として、「追加料金をケチらない」というのを声を大に言いたい。(記：KT)



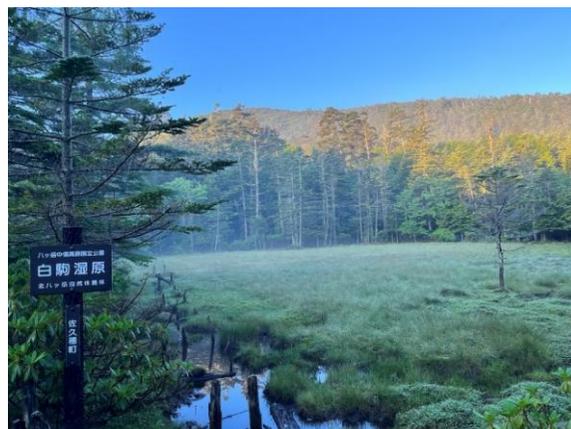
CT：北八ヶ岳ロープウェイ 12:38 - 麦草峠 15:05 - 青苔荘 15:21/13:000

7月30日(日) 天候：晴れ

昨夕の水掻き作業が功を奏し、朝にはテント下の水が捌けていた。改めて朝確認すると、水が溜まりやすい場所であったことが確認できた。(右写真：朝の様子(手前がテントを張った場所))昨日はテント設営地が混んでいたため、設営場所の選択肢は少なかったが、天候を考慮してテント設営場所選びが重要だ、ということをお教えいただきながら、朝の準備を進めた。



朝5時前に青苔荘を出発した。朝の白駒湿原では親子の鹿の姿を見かけるなど、潤いのある美しい道を歩き、八ヶ岳らしい霧囲気を満喫した。徐々に天候もクリアになり、夏らしく日差しが強くなった中、順調に高度を上げていった。ニューでは素晴らしい景色を見ることができ、歓声が上がった。多くをTYリーダーに持って頂いてはいるものの、個人的にはいつもより少し重い荷物でばてそうになっていたところ、10時ごろ東天狗岳に到着して安堵した。頂上では、当初はクリアな景色が望めていたが、徐々にガスが流れてきて、会旗をもって記念写真を撮った際には、半分クリアで半分ガスという合成写真のような写真になってしまった。3人の良い笑顔から満足した様子が伝わるだろう。



下山の岩稜帯では、私が慣れておらず時間を掛け過ぎてしまったため、黒百合ヒュッテを過ぎ、バスの時間を気にして自分の通常の下山スピードよりも速く下ろうとして転倒し、ご迷惑をかけてしまったのが反省点である。何事も今後の安全山行の学びにしていく。(記：OK)

CT: 青苔荘 4:47 - ニュウ 6:41 - 東天狗岳 9:42-黒百合ヒュッテ 11:42 - 渋の湯 14:38

